

第54回滋賀県芸術文化祭参加事業

【主催】草津市・草津市教育委員会

第62回

草津市美術展覧会

出陳目録

2024. **11.17** (令和6年) **日** ~ **11.23** **土祝** 10:00~17:30
(11.23 **土祝** は15:00まで)

キラリエ草津 5・6階
(市民総合交流センター)

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、イラスト

〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	11	11	5	16
洋画	58	58	9	67
彫刻	7	7	6	13
工芸	25	25	6	31
書	30	30	13	43
写真	82	82	9	91
イラスト	14	14	3	17
合計	227	227	51	278

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】(敬称略)

日本画 水野 収 (日展特別会員、奈良芸術短期大学公開講座講師)

洋画 黒川 彰夫 (二科会会員、滋賀県美術協会会員)

彫刻 笹山 幸徳 (日展彫刻特別会員、兵庫教育大学名誉教授)

工芸 井隼 慶人 (日展理事、日本新工芸家連盟会長)

書 岡本 藍石 (日展準会員、読売書法会常任理事・審査員)

写真 金澤 徹 (成安造形大学名誉教授、日本写真芸術学会理事)

イラスト 横山 夢 (成安造形大学非常勤講師)

【批評会】 令和6年11月23日(土) 15:15 ～
キラリエ草津(市民総合交流センター) 5階/6階

【表彰式】 令和6年11月23日(土) 16:30 ～
キラリエ草津(市民総合交流センター) 1階 多目的室

【後援】(順不同)

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会・レーク滋賀農業協同組合・公益財団法人草津市コミュニティ事業団・社会福祉法人 草津市社会福祉協議会

市展賞

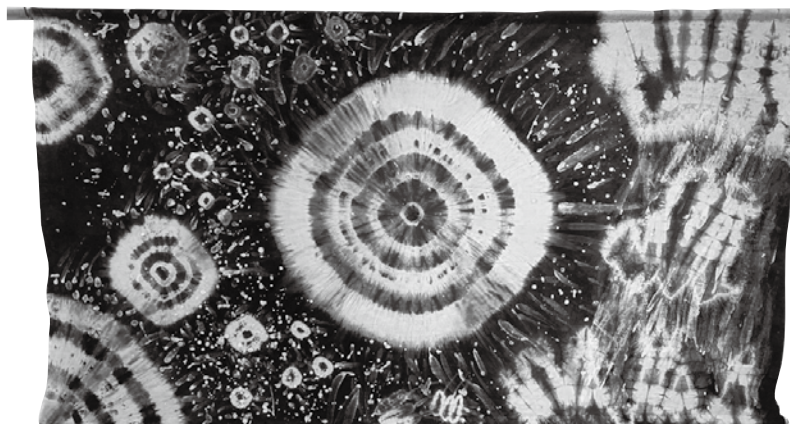
日本画

《生きる》
藤本梨恵



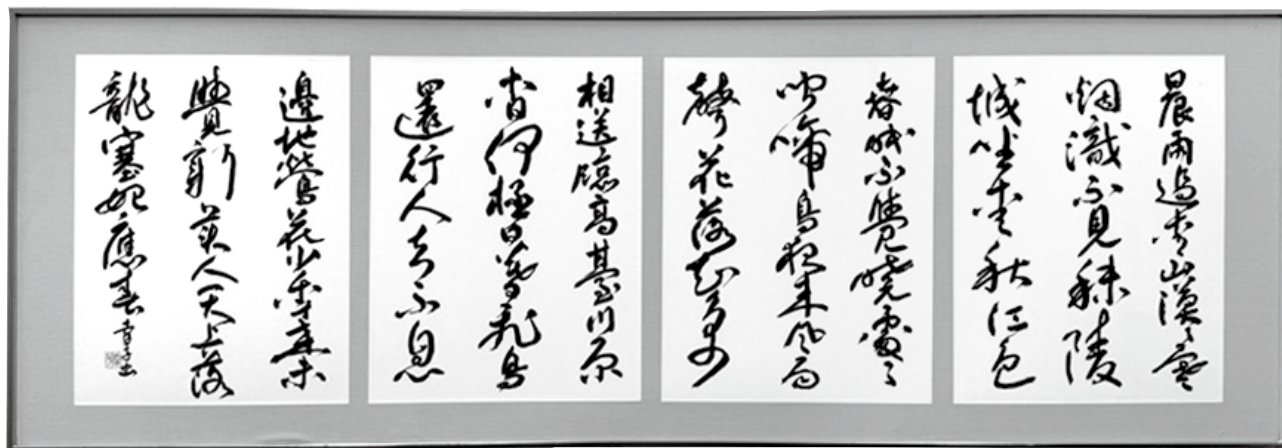
工芸

《夏の夜空》北口由美子



書

《五言句四首》吉川幸子



彫刻



《凧》 廣瀬一行



写真

《人生の年輪》
田中康明



《晩秋・八幡堀》
大森 治

洋画

イラスト



《青春》
前山三紀子

日本画

配置順	賞名等	題名	氏名
1	市展デビュー賞	雁来紅	操田 順子
2	市展賞	生きる	藤本 梨恵
3	市制施行70周年記念賞	提灯屋さん(大津祭宵宮)	仲川 千秋
4	毎日新聞社賞	初恋の味(舟板堀)	西野 薫
5	市展委員	春の辺	早川 裕子
6	審査員	ぽっかりと	水野 収
7	出品委嘱	金木犀の香る	稲岡 仁彦
8	市展委員	果実	吉岡 佐知
9	無鑑査	夢とそよ風	草川 京子
10	特選	桜と草津川	奥野 幸一
11	草津市議会議長賞	山あいの輝	後藤 寛治
12	佳作	母の日	眞野 滋夫
13		錦帯橋	前田 澄子
14	佳作	シェル エイト(漕艇)	園 滋
15		四条傘鉾	中川 きよ美
16		琵琶湖湖畔2016	太田 由紀子

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

配置順	賞名等	題名	氏名
1	無鑑査	畦道	田中 孝
2	無鑑査	遊びの時間	木村 順一
3	無鑑査	茅ぶきの郷	慥原 喜六
4		海と陽で希望を咲かせる	阪田 恵美
5	佳作	竹根	大西 隆夫
6		初夏のアルプス	井上 政憲
7		宵の帳帷	畠中 博
8	中日新聞社賞	チェスキークロムノフ	石川 由紀子
9	佳作	神戸・ポートタワー	吉岡 友太郎
10		コバルトブルーの街	藤原 紀子
11	佳作	八月の水道橋	松田 芽依
12		驟雨	白石 愛一郎
13		走れ	前田 英雄

配置順	賞名等	題名	氏名
14		ヒカリトカゲ	平野 有希
15	草津市コミュニティ事業団理事長賞	雪花舞う碧流	河合 千恵子
16		溪流	木内 悦子
17		遊歩道	松本 博幸
18	市展委員	街	山元 敏子
19	市展委員	彩りの街	矢野 信司
20	出品委嘱	遠き日	岡島 春美
21	審査員	序幕'24-1	黒川 彰夫
22	無鑑査	気配	石橋 国夫
23	市展委員	WATERCOURSE	森 邦博
24	佳作	K市近郊の一隅	溝辺 行雄
25		シヨブバザール	田中 美智子
26	佳作	枯れ蓮	山本 清子
27	市展賞	晩秋・八幡堀	大森 治
28		仲よくジャンプ	中川 きよ美
29		ドライフラワー	増山 恵子
30	草津市国際交流協会会長賞	モミジ燃ゆる境内	四方 勉
31		蓮	林家 清子
32	佳作	Catch !	野崎 かおる
33	NHK大津放送局長賞	と或る街への扉	今村 皐
34		障壁・世の光に	岸田 章弓乃
35	佳作	一夜花	山井 喜久江
36		無限玉	加藤 美羽
37		一休み	中井 忠男
38	レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞	おくどさん	福原 和人
39		滋賀のすいれん	河合 直子
40	市制施行70周年記念賞	伊吹山	塚本 薫三
41	佳作	秋の色	加藤 房江
42		生命力	吉田 安今巳
43		たなばた	塚田 悦子
44		思い出のスイス(アルプス・ユングフラウ)	福田 昌甫
45		君の名は？	福原 光子

配置順	賞名等	題名	氏名
46		ひまわり	福満 辰夫
47		北海道、トマム	山田 ひで子
48 特選		「よし」への思い	札本 倫子
49		月下美人	今井 文子
50		伊吹山	中野 幸子
51		高原に憩う	藤本 修
52 佳作		木連れ格子(松本城)	藤井 康彦
53		泰然	佐藤 裕
54		ストレッチ	中西 淑子
55		はじめてのおまつり	村田 真衣
56 市展デビュー賞		ブーケ	坂栄 和子
57		しだれ桜	湯ノ口 敏雄
58		ひまわり	善野 果林
59		Lady bug	松尾 篤憲
60		つどい	西村 征一郎
61		忘れまじ原爆	富田 隆
62		うちに秘めた光	今井 愛望
63		擁壁	三原 敏夫
64		創造世界(現代に駆り立てる者)	讃岐 英知
65 草津市教育長賞		レイク	村上 陽子
66		PAGE2	シュルンツェ 志奈
67		パッチワークみたいなコッツウォルズ	青山 美恵子

彫刻

配置順	賞名等	題名	氏名
1		戯れ	河尻 千恵子
2 市展賞		凜	廣瀬 一行
3 市制施行70周年記念賞		母の日	掛樋 とみ子
4 審査員		ジョン・ノリス	笹山 幸徳
5 草津市教育会会長賞		蔵王権現おもて	北川 良一
6 特選		キュリオス	木戸 悠人
7 佳作		ナワバリ	木村 順一
8 市展デビュー賞		ひとやすみ	深尾 篤範

配置順	賞名等	題名	氏名
9 無鑑査		警	伊庭 照実
10 出品委嘱		青春の詩	嶋畑 貢
11 出品委嘱		その“手”	土田 隆生
12 市展委員		若い季節	石田 秋次
外 市展委員		あゆみ	伊庭 靖二

工芸

配置順	賞名等	題名	氏名
1 市展デビュー賞		威風	船越 育代
2 佳作		富士山に見えるかな	釜屋 明和
3 朝日新聞社賞		モンステラ	馬場 恵子
4		和	森貞 豊子
5 草津美術協会会長賞		型紙彫刻「のぞいてごらん Part II」	藤本 信也
6		闇輝手まり	芳賀 隆弘
7		市制施行70周年の感激	山本 紀久子
8		旅路	阿部 芙姉子
9		フロール・ロハ	森田 幸子
10		compagna	石岡 浩代
11		湖	松村 喬
12		陶のミルフィーユ	中野 和彦
13		丸・三角・四角	望月 眞寸男
14 市制施行70周年記念賞		2heads creature	高木 ヒロユキ
15		霧時雨の姫路城	宮本 稔
16		巢穴	朝見 杏映
17 特選		あっ！	池本 政也
18		小さなしろくま	安田 大輔
19 佳作		交わり	小曾戸 昇林
20		深海の謎	家島 健二
21 市展賞		夏の夜空	北口 由美子
22		アウヤン・テプイ山裾カラオ川の水面	福田 ちず子
23		お気に入りの並木道	伏木 利子
24		かくれんぼ	加地 景子
25		前進のみ	国本 繁雄

配置順	賞名等	題名	氏名
26	出品委嘱	冬華	高橋 政男
27	出品委嘱	耀彩『ふた器』	片山 雅美
28	市展委員	想	三原 サダ子
29	審査員	豆	井隼 慶人
30	無鑑査	秋の花	江川 勝子
31	市展委員	湖辺	下川 まち子

書

配置順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		柳宗元詩	山田 今朝子	
2		五言句	中嶋 文子	湖響
3		孫過庭＜書譜＞	大角 兼一	
4		五言句	荒谷 怜実	
5	佳作	儲光義「関山月」	奥村 守男	守峰
6		崔元翰詩	新庄 さとみ	
7		杜甫詩	真野 珠江	
8	佳作	韓愈詩	松宮 孝明	
9	出品委嘱	春風弄新陽	山本 清一	南竹
10	審査員	幽趣	岡本 了壽	藍石
11	出品委嘱	寒山転蒼翠	岡田 優三	祖翠
12	市展委員	穆如清風	今居 潤子	青桃
13	市展委員	李商隠詩	川添 裕子	翠湖
14	市展委員	清襟	中村 徹	徹堂
15	無鑑査	呉昌碩臨書	長谷川 久枝	桂園
16	無鑑査	正岡子規の句	中島 弘子	翠湖
17	無鑑査	楓霜蘆香	小倉 緑	翠苑
18	無鑑査	杜甫詩	中村 清美	清婉
19	無鑑査	水原秋桜子の句	小野澤 絹代	蕙湖
20	無鑑査	客中秋夜	田中 俊一	叡峰
21	無鑑査	和気動	徳地 比佐美	湖咲
22		蘇軾之詩	中村 有美子	朱映
23	佳作	五言句	我孫子 弘子	弘湖
24		七言句	小寺 厚子	
25	佳作	雍陶詩	中島 民恵	

配置順	賞名等	題名	氏名	雅号
26		漢詩	亀井 よし子	佳芳
27		五言絶句	西川 實智子	
28	特選	もみち葉	長谷川 豊博	
29	草津商工会議所会頭賞	温泉侍従帰逢故人	西川 文	文苑
30	市展賞	五言句四首	吉川 幸子	
31	市制施行70周年記念賞	扈從登封途中作 宋之問	坂口 美智子	美峰
32	KBS京都賞	劉崧詩	渡辺 嘉奈子	嘉香
33	京都新聞賞	蟻蝶図	泊 孝信	響山
34	佳作	四季のうた	横山 郁恵	
35	佳作	王嘉謨詩	平尾 舞香	
36		五言句	竹村 弘子	弘蕙
37		蕪村の句	久保 敦子	紫湖
38		看月	井浦 貴子	
39		重遊金粟寺有作	宮崎 誠司	海山
40		五言句	竹越 律子	湖春
41		胡德琳之詩	畑中 真弓	
42	市展デビュー賞	臨書	武地 紗愛	
43		五言句	奥村 和子	和蕙

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

配置順	賞名等	題名	氏名
1		かやぶきの里	鈴鹿 竹二
2		ランチブレイク	岡本 展彦
3	市展デビュー賞	good bye	今元 久美子
4		初夏の神苑	北山 忠
5	佳作	忘れられたん？	中村 若枝
6	佳作	火の粉舞う	佐々江 勝
7		黎明	森 保
8		七色の風	藤原 厚士
9		ノスタルジー	大西 峰代
10		エピローグ	北垣 節子
11	佳作	少年と犬	田中 博文
12		小さな雨音	佐々野 京子

配置順	賞名等	題名	氏名
13	えふえむ草津賞	WHO	林 久雄
14		裏通り	中村 友美
15		晩秋の鏡池	吉田 利男
16		浪漫飛行	仲野 隆
17		残暑	植田 信子
18	草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞	異空間	房安 幸夫
19	佳作	天空の指定席	藤田 文子
20		たそがれ	阿部 芙姉子
21	草津ライオンズクラブ会長賞	冬渚	中森 ますみ
22		幽谷雨情	野口 季春
23	出品委嘱	休漁日	西岡 伸太
24		天狗の舞	山本 靖幸
25		memory	坂上 ミュキ
26	市制施行70周年記念賞	平和を願う	吉村 英光
27	審査員	2015年8月17日 11:49 ニューヨーク市パークア ヴェニューと32丁目(地下 鉄33丁目駅付近より撮 影)	金澤 徹
28	市展賞	人生の年輪	田中 康明
29	特選	ユーフォニアムの少女	小川 武司
30	佳作	さあ願いを言え	池田 秀彦
31		参上	中嶋 和江
32	滋賀県芸術文化祭奨励賞	夕照	倉田 幸雄
33		今朝はハレの日	本田 昭夫
34		何処へ	松村 里子
35		ラブ・コール	安東 晋司
36	佳作	あっぱれ！！	浮田 千草
37		春の便り	今野 俊和
38	草津市社会福祉協議会会長賞	里の秋	西川 美恵
39		晩秋の雨	野村 昭夫
40	佳作	親子の時間	田村 昌也
41	読売新聞社賞	さそわれて	田村 勇人
42		秋思	赤井 春雄
43	市展委員	子狐	高谷 禮子

配置順	賞名等	題名	氏名
44	市展委員	冬日	寺田 裕彦
45		瓦の道	宮本 雅子
46		熱い剣	荒川 道一
47		秋の愁	藤井 勝
48		小さな幸せ	前田 鉄矢
49		夫婦心中の段	山本 照夫
50		さあ行くぞ～！	中川 直人
51		河面	富田 隆
52		古の急がば回れ	小寺 勝久
53		決勝戦	吉村 紀夫
54		神域	中田 守治
55		間もなくお披露目	山元 英雄
56	無鑑査	冬近し	尾崎 良一
57	無鑑査	今年も豊漁	寺尾 幹男
58	無鑑査	秋を描く	木村 正司
59	無鑑査	初夏	二宮 紀彦
60	無鑑査	春遠からじ	山元 國一
61		碧より深し	常石 由美子
62		春の風物詩	吉村 仙二郎
63		向こう	福島 正則
64		春陽	高橋 勲
65		夜のしじま	中野 和彦
66		龍の舞	中西 博司
67		まもりたい、君を	中野 貴夫
68		ビル街の造形	西山 秀一
69		朝	原 慎一郎
70		雲外蒼天	木村 孝一
71		里山の恵み	和田 義孝
72		絆を深める華宵	田中 延子
73		いとしのトム	藤本 義隆
74		大空の番人	園田 みちゑ
75		惜梅	氷見 善信
76		秋の香り	田口 明

配置順	賞名等	題名	氏名
77		アドベンチャー	松田 奉子
78		閃光	西村 敬治
79		勇往邁進	伊吹 達郎
80		砂塵を駆ける	丸田 良則
81		天高く	詫間 秀夫
82		湧水波紋	林 文信
83		流鏑馬	鈴木 栄子
84		斜陽	小林 正治
85		紅一点	井口 達也
86		堅忍不拔	樋口 浩司
87		狙う	青木 宏樹
88		舟待ち	阿部 正昭
89		旅立ち	久島 正博
90		聖なる使者	杉立 好正
91		ちびっこ集合	寺田 吉廣

イラスト

配置順	賞名等	題名	氏名
1	市展賞	青春	前山 三紀子
2	市制施行70周年記念賞	還 ゴンザ	堤 啓太郎
3	特選	とおりすぎゆく	上原 明日香
4	草津ロータリークラブ会長賞	ずっと一緒	渡嘉敷 裕夏
5	BBCびわ湖放送賞	踊れ！情熱のままに！！	清水 圭子
6	市展デビュー賞	アンムートのメリーゴーランド	長野 佐柚
7	佳作	星々が踊るわたしの世界	今井 愛望
8	佳作	孔雀に関するレファレンス	片岡 節哉
9		逃げられない子供たち	HE ZHIZHOU 何 之州
10		ゴースト	西生 春輝
11		魔法学校の授業風景	東郷 綾音
12		車	園田 稔
13		ハダニエア802便出航	宇野 温子
14		たんじょう	木村 順一
15	市展委員	穂和の塔	和田 美紀
16	市展委員	ねことわたしのちいさなお話	上原 結子
17	審査員	白花姫	横山 夢

日本画

(審査員) 水 野 收

○総評

日本画制作をそれぞれの方がそれぞれの表現で工夫を重ね、楽しんでおられる様子が伺えます。一つの傾向に偏ることなく、自由奔放な姿勢と熱意が快く心に届きます。

○市展賞

「生きる」

藤本 梨恵

森の中でのこの大樹との出会いを大切にし、その自然観、生命観をストレートに表現されている秀作である。

○市制施行 70 周年記念賞

「提灯屋さん（大津祭宵宮）」 仲川 千秋

伝統的なお祭の様子、おそらく子供時代の思い出も重なり、イメージが膨らんだように思われる。そんな憶測を見る者に生じさせ、子供時代に誘う秀作である。

○特選

「桜と草津川」

奥野 幸一

直線の構成のおもしろい作品である。その人工物での構成の合間に、桜並木と土手と畑が挟まり、心をなごませてくれる。作者の地元の風景を愛する気持ちが伝わる秀作である。

○特選（草津市議会議長賞）

「山あいの輝」

後藤 寛治

清らかな空気を感じさせ、山間の光のあり様がこの谷間をやわらかく照らし、神々しくさえ思わせる。せせらぎの音が聞こえて来るようだ。

○特選（毎日新聞社賞）

「初恋の味（舟板塀）」

西野 薫

舟板に残る作者の思い出が作画に繋がったようだ。思い出の時代を見る者に喚起させるのは、おもしろい試みである。舟板そのものをもう少し追求しても良かったかも知れない。

洋画

(審査員) 黒川 彰 夫

○総評

今年は色鉛筆を使った表現が多く見られました。それぞれに深みのある作品で見応えのあるものになりました。全体に風景画が多く楽しい雰囲気を感じました。描く事の楽しさを見るものに十分に伝えてくれる作品が多く良い展覧会になっています。それぞれに今の作品に向かう態度を忘れずに制作を続けて、より深い作品になるように研究してください。

○市展賞

「晩秋・八幡堀」

大森 治

一見普通の風景画に見えますが、独特の色彩で表現され華やかさを醸し出しています。丁寧な表現が、画面全体を引き締めいい緊張感を出しています。色の遊びにならず進めてください。

○市制施行 70 周年記念賞

「伊吹山」

塚本 薫三

対象を真摯に受け止め、見るものに気持ちの良い作品になりました。筆の運びに柔らかな温かみを感じます。画面にいい空気感が伝わってきます。空の色も強さがあり画面全体を引き締めています。

○特選

「「よし」への思い」

札本 倫子

色鉛筆の特性を活かし、草や切り取ったヨシの表現が実にリアルに表現され全面に迫る迫力を感じます。欲を言えば手前に来るほどにもっと量感が出ればと思います。この繊細な表現を忘れずに進めてください。

○草津市教育長賞

「レイク」

村上 陽子

枯れ木に覆われた古びたバスの存在が、何か物語を彷彿とさせる様な作品になっています。バスや枯れ木の表現の確かさが作品全体の強さと重みを出し、安心感を与えてくれる作品です。

○草津市国際交流協会会長賞

「モミジ燃ゆる境内」

四方 勉

紅葉の華やかな美しさがよく表現されています。オレンジの諧調がうまく描き出され自然の空気感をよく伝えています。お堂の暗さが成功しています。

○中日新聞社賞

「チェスキークロムノフ」

石川 由紀子

街の情景をうまく捉えています。オレンジの屋根の描き分けが遠近感を助けています。前景、中景、後景との描き込みが大変よく描かれています。家々の表現がそれぞれに存在感を持ち、お互いに響き合い街の感じを伝えてくれます。

○NHK 大津放送局長賞

「と或る街への扉」

今村 皐

赤い扉と壁の白さの対比が面白く表現されています。ペインティングナイフを使い壁

の質感を上手く描いています。少し荒っぽい感じがありますが、画面に統一感があり、あまり気になりません。白さと、黒さにもう少し神経を使って描くともっと良くなります。

○レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞 「おくどさん」 福原 和人
隅々まで観察して描かれた作品です。室内に入り込む光を上手く捉え薄暗い情景を表現しています。薄汚れた柱、壁の色合いが良く表現され、いい作品になりました。

○草津市コミュニティ事業団理事長賞 「雪花舞う碧流」 河合 千恵子
一見抽象画の様に見える作品ですが、雪の積もった木々を高台から見た情景を色鉛筆で克明に表現しています。木々の変化、水面の変化の描き方に優れたものを感じます。単調な表現でありながら深みを感じます。

彫刻 (審査員) 笹 山 幸 徳

○総評

世界情勢が混沌とした中、我国においても自然災害も多く、政治も不安定であります。このような時こそ、文化芸術を通して心豊かなひとときが過ごせるよう願っています。今回の展覧会は材質も木、石、粘土、針金と多様であり、それぞれ独自の表現で充実した展覧会になっています。

○市展賞 「凜」 廣瀬 一行
題名の通り凜とした作品です。十分な技量があり、安定感があります。見る人に爽やかな緊張感を感じさせる秀作です。

○市制施行70周年記念賞 「母の日」 掛樋 とみ子
素朴であり、情緒がある。手にしている花も温もりがあり、豊かな夢のある好感のもてる秀作です。

○特選 「キュリオス」 木戸 悠人
粘土という素材の軟らかさをいかした素直な表現に心ひかれます。ただ目の表現にひと工夫するともっと強さのある作品になるでしょう。

○特選（草津市教育会会長賞） 「蔵王権現おもて」 北川 良一
蔵王権現像のおもての木彫作品で精巧に彫られ充実した技量がうかがわれます。色彩もよく、深い精神性を感じます。

工芸

(審査員) 井 隼 慶 人

○総評

昨今の社会的不安定で先の見通せない世相のなか、第62回展への出品状況は昨年度と比べてやや減少となりました。そのような状況の中、制作への思いが強い作家の存在が見えます。ベテランの作家はそれぞれの持ち味で創作への思いと素材への関りを強く示されていました。また、ここ数年来、若い制作者達が工芸分野の制約にとらわれることなく、無意識ながら素材を十分に感じ取り、身近にある諸状況を臆することなくそれぞれの興味を作品化しています。

○市展賞

「夏の夜空」

北口 由美子

幾種かの絞り技法を自由に使用し、単純な白、藍の濃淡の色彩でありながらも、様々な色彩を感じさせます。広大で輝く夏の夜空を表しています。ロマン豊かな制作です。

○市制施行70周年記念賞

「2 heads creature」

高木 ヒロユキ

言葉による説明ではなく、Z世代の存在を感覚的に打ち出した作品です。陶器の範疇を超えるような作品は、若い世代の自己と社会への興味を強く示しています。

○特選

「あっ！」

池本 政也

生物が生きることへの想い、食することへの結果（排泄）へ興味がダイレクトに伝わってきます。デッサンも良く出来ています。

○特選（草津美術協会会長賞）「型紙彫刻『のぞいてごらん PartⅡ』藤本 信也

多くは型紙の特性を利用し、水中の鯉の動きや水の深さを表しています。平面性と空間性が交錯する大変興味深い素材の使い方です。

○特選（朝日新聞社賞）

「モンスター」

馬場 恵子

制約の多い藍染技法を用いながらも、それにしばられず、逆にそれを自由に扱う気持ちが強く出ています。湿気や空気感が強く示されている大変良い制作です。

書

(審査員) 岡 本 藍 石

○総評

市制施行 70 周年の記念の市美展が盛大に催される事、誠にお目出とうございます。第 62 回展という歴史ある展覧会に意欲的な作品が伝統の重みを感じさせています。本年は仮名や漢字仮名交じりの作品が少なく寂しく感じました。審査に当たり、技術の裏付けと気の流れが感じられる作品を賞としました。賞外の方々も今後の創作に期待をさせて頂きました。

○市展賞

「五言句四首」

吉川 幸子

形式的には帖仕立風に四葉紙に書き上げ視覚的にも落ち着きのある作品です。行草体で疎密を工夫できて各紙ごとに盛り上げた部分効果があります。全体的にゆったりと見える優秀な作品です。

○市制施行 70 周年記念賞

「扈從登封途中作 宋之問」坂口 美智子 (美峰)

力強い運筆で五言律詩を書いた作品です。やや線が細いところを、行書を多く使うことで密度がでました。3 行目も 1 行目との調和があり爽やかな仕上りに好感があります。

○特選

「もみち葉」

長谷川 豊博

出だしの緊張感から解放されて躍動していく展開が素晴らしいです。紙の色、墨色の調和も美しいです。散らしもおだやかな山並の様に変化を持たせた構成も秀でています。

○特選 (草津商工会議所会頭賞) 「温泉侍従帰逢故人」

面川 文 (文苑)

墨の潤渇を上手に使い遠近感や線の深淺を感じます。字群の構成もほど良くみられ、中心の行の仕立てが見事です。また最終行にも躍動感を出し、堂々とした作品です。

○特選 (京都新聞社賞)

「蟻蝶図」

泊 孝信 (響山)

和らかな運筆で大胆な構成が目进行く作品です。草書の運筆の中に直線部があり、俗調になり過ぎず効果的です。墨量の変化も心地よい作品です。

○特選 (KBS 京都賞)

「劉崧詩」

渡辺 嘉奈子 (嘉香)

正方形の画仙紙に四角の形の字がマッチしてまとまりが良くなりました。3 行目の展開が特に見事です。上部に疎の明るさがあり、墨継ぎで密を見せて下へ動きながらまとめています。1 行の中に色々な変化の工夫を感じる作品です。

写真

(審査員) 金 澤 徹

○総評

既視感のある作品は安定していて、目ざわりが良いかも知れません。しかし、表現となると、それが保守的で見飽きたと感じられることがあります。写真はカメラを介して、誰もが使うことのできるメディアです。「写真」で作る世界は、真実を写すという言葉から、フォトグラフィー（意識すると「光の絵」）と考えると、より表現の幅が広がります。出品されたそれぞれの方が、今後も感動を見つけ、自身の「良い写真とは？」を考え、表現することを楽しんでください。

○市展賞

「人生の年輪」

田中 康明

何気ない後ろ姿に見えますが、歳を重ねたお二人が仲良く歩いている全体の姿が想像でき、とてもほのぼのとさせられます。

○市制施行70周年記念賞

「平和を願う」

吉村 英光

平和の象徴だと言われる鳩が羽ばたく姿と彫刻との構成が、作者の平和を願う心を力強く表現していると感じました。

○特選

「ユーフォニアムの少女」 小川 武司

ユーフォニアムに映る面白いシーンを発見しましたね。ディフォルメされた演奏者の複数の表情が見えてユーモラスな作品になっています。

○特選（草津ライオンズクラブ会長賞） 「冬渚」

中森 ますみ

写真は英語ではPhotograph（光の絵）です。この作品では真実も写し取ってはいませんが、夕映えする時間の浜辺で見えるとても美しい造形を記録して、プリントとして表現をしています。

○特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞） 「異空間」 房安 幸夫

人物を撮影したときには「眼」が訴える力が増します。この作品では彫刻の眼がとても印象的で日常や未来を見据えようとしているように感じさせられます。

○特選（読売新聞社賞）

「さそわれて」

田村 勇人

蓮の花にさそわれた蜂の一瞬を写した素敵な作品です。肉眼では留めることのできない一時で、蜂の羽音まで聞こえてきそうです。

○特選（えふえむ草津賞）

「WHO」

林 久雄

「WHO」はどう解釈したら良いのでしょうか？「誰」「何者」などなど。身につけて

いるアクセサリーや瞳から、写されている人のアイデンティティを感じます。

○特選（草津市社会福祉協議会会長賞） 「里の秋」 西川 美恵

写真作品を撮るぞ！とは感じさせず、ほんわかとした秋の日常の風景が素直に記録された良い作品です。

○特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞） 「夕照」 倉田 幸雄

作者は夕焼けの逆光の中に浮かぶ歩道と車道を区切る縁石の造形を上手に見つけて構成しています。きっとこの風景を見つけた時の感動は素敵なものだったと思います。

イラスト

(審査員) 横山 夢

○総評

出品されている作品は、イラストレーションというジャンルの中で様々な表現がされています。作者各々の憧れ、感傷、物語、日常への想いが形となった作品達。どの作品にも鑑賞者の心を動かす魅力が感じられました。見る人に何かを伝えるのは簡単なことではありません。真摯に描かれた作品に拍手を贈りたいと思います。

○市展賞

「青春」

前山 三紀子

トランペット、川岸の土手、制服…タイトル通り、青春の思影を用いて夕暮れの身近な景色が上手に構成されています。茜色の空を見つめる主人公の眼指しには純粋さを感じられます。風が吹いていることを感じさせる情景と相まって、清々しさや青春の懐かしさが見る人の心をいっぱいにする作品。デジタルだけではなく、さりげなくグリッターで本物の輝きが添えられていることに、作者の想いが丁寧に表現されています。

○市制施行 70 周年記念賞

「還 ゴンザ」

堤 啓太郎

コラージュ技法で立体的に見せる部分や金色でアクセントを付けている部分など、細密に描かれた中央のモチーフと共に見ごたえがありますね。神話のような世界を情熱をこめて描いてきた作者の気持が伝わります。

○特選

「とおりすぎゆく」

上原 明日香

深い藍色の暗さと、オレンジ色の明るさの対比が印象的です。主人公を通りすぎてゆくモチーフ達は彼女の周りの愛しい者でしょうか。見る者にも色々な想像をさせる作品。小さなサイズに描きたいものを上手く構成しています。

○特選 (草津ロータリークラブ会長賞) 「ずっと一緒」

渡嘉敷 裕夏

描かれた2匹の仲の良さがひと眼見て伝わります。それと同時に描いている作者の眼指しのあたたかさも感じられ、モノトーン画材でも愛情を豊かに表現している描画力に感じ入りました。かすかに入れられた光の色に、何も描かれていない余白が「想い」の余韻になって、全体を包み込んでいます。

○特選（ＢＢＣびわ湖放送賞）

「踊れ！情熱のままに！！」 清水 圭子

お花が踊り出したらこんな風になる…普段、動かない、話さない静かな存在がその能力を超えて愛を伝えようとしてる…。色彩の鮮やかさと躍動的な形を練りに練って描かれています。このお花は作者の方ご自身なのかもしれません。見る者の気持ちを揺さぶる迫力がある作品です。

草津市民憲章

私たち草津市民は

- 一、古い歴史にとけあった新しい文化をつくり、
住みよいまちをきずくためにあたたかい心
を持ちあって、ともにあすへの歩みを進めましょう。
 - 一、豊かな生産に努めましょう。
 - 一、高い教養を伸ばしましょう。
 - 一、明るい環境を整えましょう。
 - 一、良い風習を育てましょう。
-